

肝炎サポート国民大集会ニュース

主催 薬害肝炎全国原告団・弁護団、全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団
(連絡先) 法学館法律事務所 (TEL03-3462-8051) 全国B型肝炎訴訟弁護団 弁護士 横山恵美子

平成30年度から 重症者にも医療費助成を!

11/16 肝炎サポート国民大集会に1200人参加。



1200人の熱気があふれた
東京国際フォーラム

▲肝炎患者やその家族、支援者が全国から駆けつけました。

悲願の実現へ

11月16日(木)、東京で肝炎サポート国民大集会が開かれ、肝炎患者・家族など1200人が参加しました。

肝がん・肝硬変患者への医療費助成は長年の悲願であり、会場は、その実現に向けた熱意であふれました。

最新治療を私たちのものに

国立国際医療研究センター肝炎情報センター長の考藤達哉先生は、ご講演「肝炎治療の最前線」の中で最新の研究情報の紹介など、肝炎治療が急速に進歩していることをわかりやすく話してくださいました。

また、日本肝臓病患者団体協議会の米澤敦子さんと厚生労働省健康局 肝炎対策推進室長の小野俊樹さんの対談では、厚生労働省が来年度予算の概算要求にもりこんだ重度肝がん患者への医療費助成制度などについてご紹介いただきました。

集会では、与野党の国会議員からご挨拶もいただきました(2面参照)。



▲わかりやすいお話をしてくださった考藤達哉先生(写真上)。

▲日本肝臓病患者団体協議会・代表理事の米澤敦子さん(左)と厚生労働省健康局肝炎対策推進室長の小野俊樹さん(右)(写真下)

国会議員メッセージ ※ 短期間で100人突破!

私たちの思いを再度、
国会に届けましょう!

※11月20日現在、123人。



▲写真左から、三ツ林裕巳衆議院議員(自民)、榎屋敬悟衆議院議員(公明)、倉林明子参議院議員(共産)、福島瑞穂参議院議員(社民)。また、川田龍平参議院議員(民進)、柚木道義 衆議院議員(希望)、高橋千鶴子衆議院議員(共産)からも、秘書の方の代理出席や激励メッセージをいただきました。

国会請願署名の採択にあたっては、党派を超えた多くの国会議員・地方議員の皆様に応援していただきました。今回の大集会でも、各党の先生方から激励をいただきました。

参加された議員の皆様は「来年度の予算編成から肝炎患者の願いがかなうように党派の違いをこえてがんばりたい」「肝炎サポートの国民運動をひろげたい」などと決意を語ってくださいました。

年末にかけて正念場。 あと一步、ともにがんばりましょう。

肝がん・肝硬変むけに医療費助成制度をつくることは、私たちの悲願です。



平成30年度の予算編成の時期であるいま、運動は正念場です。厚生労働省は、請願署名の国会採択をうけて、重度肝がん患者むけ医療費助成制度の創設を要望しています。これは「肝がん・肝硬変医療費助成」の実現にむけ、きわめて重要な「足がかり」となります。なんとしても予算化を勝ちとり、スタートさせることが大切です。

同時に、厚労省の案でも、肝硬変患者は対象外、肝がん患者も対象者は約1割にすぎません。助成や肝炎サポートの充実について、将来にむけても、来年度の予算化にむけても、国会議員の先生方からメッセージをいただくなど、継続してがんばることが大切です。

◀写真上は、左から、主催者あいさつをする田中義信さん(B型肝炎)、出田妙子さん(薬害肝炎)、そして、ご挨拶をいただいた日本肝臓病患者団体協議会・代表幹事 山本宗男様。(写真下)東京国際フォーラムをいっぱいこえた1200人の参加者は、悲願達成にむけて思いを一つにしました。